

令和2年度水道事業会計決算の概要

長浜水道企業団

1 業務の状況

市街地ではマンションの建設や宅地造成により給水件数が増加していますが、全体的に給水人口は減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響でステイホームが広がり、一般家庭での使用水量が増加した一方で、観光関連を中心に業務用使用水量が減少しています。一般用と業務用を合わせると、使用水量は横ばいとなっています。地域ごとでは、業務用使用水量の多い企業団、びわ、余呉木之本と宿泊施設が廃止された西浅井区域で使用水量が減少しています。

また、有収率が低い区域があり、漏水調査と修理を強化し、漏水の削減に努めるとともに、水道管路の更新を進める必要があります。

区域	令和2年度	令和元年度	増減(率)
企業団	30,722 件	30,562 件	160 件 (0.5 %)
びわ	2,454 件	2,452 件	2 件 (0.1 %)
浅井	4,793 件	4,788 件	5 件 (0.1 %)
湖北	2,924 件	2,924 件	0 件 (0.0 %)
高月	3,685 件	3,666 件	19 件 (0.5 %)
木之本	2,148 件	2,167 件	△ 19 件 (△ 0.9 %)
余呉木之本	1,682 件	1,706 件	△ 24 件 (△ 1.4 %)
西浅井	1,607 件	1,607 件	0 件 (0.0 %)
計	50,015 件	49,872 件	143 件 (0.3 %)

区域	令和2年度	令和元年度	増減(率)
企業団	75,470 人	75,748 人	△ 278 人 (△ 0.4 %)
びわ	6,485 人	6,623 人	△ 138 人 (△ 2.1 %)
浅井	12,704 人	12,782 人	△ 78 人 (△ 0.6 %)
湖北	8,125 人	8,209 人	△ 84 人 (△ 1.0 %)
高月	10,338 人	10,573 人	△ 235 人 (△ 2.2 %)
木之本	5,130 人	5,227 人	△ 97 人 (△ 1.9 %)
余呉木之本	3,358 人	3,443 人	△ 85 人 (△ 2.5 %)
西浅井	3,713 人	3,786 人	△ 73 人 (△ 1.9 %)
計	125,323 人	126,391 人	△ 1,068 人 (△ 0.8 %)

項目	区域	令和2年度	令和元年度	増減(率)	
年間給水量	企業団	9,188,458 m3	9,204,905 m3	△ 16,447 m3	(△ 0.2 %)
	びわ	1,312,719 m3	1,340,298 m3	△ 27,579 m3	(△ 2.1 %)
	浅井	1,945,989 m3	1,907,077 m3	38,912 m3	(2.0 %)
	湖北	1,215,626 m3	1,208,286 m3	7,340 m3	(0.6 %)
	高月	1,619,918 m3	1,543,464 m3	76,454 m3	(5.0 %)
	木之本	910,777 m3	899,820 m3	10,957 m3	(1.2 %)
	余呉木之本	708,580 m3	722,437 m3	△ 13,857 m3	(△ 1.9 %)
	西浅井	578,125 m3	674,881 m3	△ 96,756 m3	(△ 14.3 %)
	計	17,480,192 m3	17,501,168 m3	△ 20,976 m3	(△ 0.1 %)
年間有収水量	企業団	7,974,572 m3	8,006,083 m3	△ 31,511 m3	(△ 0.4 %)
	びわ	803,149 m3	806,753 m3	△ 3,604 m3	(△ 0.4 %)
	浅井	1,280,986 m3	1,240,008 m3	40,978 m3	(3.3 %)
	湖北	802,011 m3	799,980 m3	2,031 m3	(0.3 %)
	高月	1,024,147 m3	996,551 m3	27,596 m3	(2.8 %)
	木之本	616,143 m3	611,548 m3	4,595 m3	(0.8 %)
	余呉木之本	406,668 m3	425,892 m3	△ 19,224 m3	(△ 4.5 %)
	西浅井	422,212 m3	423,175 m3	△ 963 m3	(△ 0.2 %)
	計	13,329,888 m3	13,309,990 m3	19,898 m3	(0.1 %)
有収率	企業団	86.8 %	87.0 %	△ 0.2 P	
	びわ	61.2 %	60.2 %	1.0 P	
	浅井	65.8 %	65.0 %	0.8 P	
	湖北	66.0 %	66.2 %	△ 0.2 P	
	高月	63.2 %	64.6 %	△ 1.4 P	
	木之本	67.7 %	68.0 %	△ 0.3 P	
	余呉木之本	57.4 %	59.0 %	△ 1.6 P	
	西浅井	73.0 %	62.7 %	10.3 P	
	計	76.3 %	76.1 %	0.2 P	

※有収率＝年間有収水量÷年間給水量

※給水量と有収水量の差が、漏水や火災の消火用水です。

2

収益的収支の状況

収入は、水道料金は業務用の減少と一般用の増加で、合わせるとほぼ横ばいとなり、公共工事に伴う支障移設の増加、令和元年度に実施した水道料金システム改修の負担金等の減少により、収入全体としてはほぼ横ばいとなっています。支出は、低金利政策のもとで支払利息が減少したほか、減価償却費の減少や徹底したコスト削減により、支出全体としてはわずかですが減少しています。

予算作成時には、人口減少に伴い水道料金収入の減少を見込み、これに合わせて支出を抑制していましたが、想定よりも水道料金収入が多く、一時的に経営状況が改善しました。しかし、人口減少が続く中で、施設の老朽化に伴う維持管理費用が増大していることから、経営状況が厳しい状況に変わりはありません。

(千円)

収入	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)給水収益	1,276,785	125,184	198,144	125,439	124,142	126,911	65,341	65,997	2,107,943
(2)受託工事収益	26,871	0	250	68	58	428	0	22	27,697
(3)受託事業収益	41,242	3,231	7,487	4,217	6,286	4,039	2,235	2,924	71,661
(4)その他営業収益	12,249	268	643	378	1,142	146	69	63	14,958
(5)受取利息	4,182	1,268	770	783	945	344	0	0	8,292
(6)加入金	69,940	1,820	3,840	1,140	2,100	420	320	300	79,880
(7)負担金	19,574	2,100	9,093	6,211	3,033	1,530	3,941	5,158	50,640
(8)長期前受金戻入	166,696	19,356	15,930	11,271	37,735	44,482	40,897	12,550	348,917
(9)雑収益	3,349	36	33	0	5	8	1	142	3,574
総収入	1,620,888	153,263	236,190	149,507	175,446	178,308	112,804	87,156	2,713,562

支出	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)原浄水費	183,781	19,350	29,767	18,419	21,033	36,482	21,475	18,278	348,585
(2)給配水費	133,610	4,462	5,537	3,204	2,074	1,554	1,839	1,590	153,870
(3)業務費	106,884	11,450	15,052	3,344	16,142	4,035	2,416	3,277	162,600
(4)総係費	152,770	668	1,098	677	734	487	252	281	156,967
(5)減価償却費	553,008	45,606	111,091	76,573	103,839	100,186	77,171	52,121	1,119,595
(6)資産減耗費	0	100	0	0	0	16,829	0	0	16,929
(7)その他営業費用	3,981	133	284	241	786	45	20	17	5,507
(8)支払利息	115,587	7,795	12,656	8,439	12,541	20,187	6,074	8,296	191,575
(9)雑支出	4,870	276	1,137	948	538	299	412	747	9,227
(10)予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支出	1,254,491	89,840	176,622	111,845	157,687	180,104	109,659	84,607	2,164,855
純利益	366,397	63,423	59,568	37,662	17,759	△ 1,796	3,145	2,549	548,707
当年度未処分利益剰余金	807,662	184,050	174,995	331,174	223,702	△ 192,426	60,936	14,009	1,604,102

(1) 企業団水道事業

収入	1,759,382 千円	(1,620,888 千円)
支出	1,376,745 千円	(1,254,491 千円)
差引	366,397 千円		
令和元年度繰越利益剰余金	441,265 千円		
令和2年度未処分利益剰余金	807,662 千円		

安定した収益が確保でき、良好な経営状況となっております。
令和2年度は3億6,639万7千円の黒字となり、このうち3億円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。
今後、多くの施設が更新時期を迎えることから、楽観できる状況ではありません。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	1,759,382	1,739,015	20,367 (1.2 %)
水道料金	1,404,464	1,403,254	1,210 (0.1 %)
受託工事収益	29,559	14,509	15,050 (103.7 %)
受託事業収益	41,242	38,857	2,385 (6.1 %)
加入金	76,934	64,396	12,538 (19.5 %)
負担金	19,722	22,436	△ 2,714 (△ 12.1 %)
長期前受金戻入	166,696	174,628	△ 7,932 (△ 4.5 %)
その他	20,765	20,935	△ 170 (△ 0.8 %)

※ 負担金内訳

消火栓設置に伴う施設増加維持管理費15,279千円

(うち長浜市13,251千円、米原市2,028千円)

児童手当に要する経費2,824千円

(うち長浜市2,604千円、米原市220千円)

公営企業会計システム負担金491千円(長浜市)

水道メーター交換に係る経費1,127千円(米原市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	1,376,745	1,345,820	30,925 (2.3 %)
原浄水費	198,319	186,711	11,608 (6.2 %)
給配水費	137,709	136,258	1,451 (1.1 %)
業務費	110,809	103,391	7,418 (7.2 %)
総係費	155,333	111,155	44,178 (39.7 %)
減価償却費	553,008	571,840	△ 18,832 (△ 3.3 %)
支払利息	115,587	131,724	△ 16,137 (△ 12.3 %)
その他の費用	8,854	6,819	2,035 (29.8 %)
消費税	97,126	97,922	△ 796 (△ 0.8 %)

(2) びわ上水道事業

収入	165,981 千円 (153,263 千円)
支出	102,832 千円 (89,840 千円)
差引	63,423 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	120,627 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	184,050 千円	

企業団へ統合後に料金改定を行い、良好な経営状況となっておりますが、今後、企業団水道事業への統合を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

令和2年度は、6,342万3千円の黒字となり、このうち3千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	165,981	169,482	△ 3,501 (△ 2.1 %)
水道料金	137,703	136,838	865 (0.6 %)
受託工事収益	0	2,316	△ 2,316 (△ 100.0 %)
受託事業収益	3,230	3,031	199 (6.6 %)
加入金	2,002	3,558	△ 1,556 (△ 43.7 %)
負担金	2,100	2,100	0 (0.0 %)
長期前受金戻入	19,356	19,536	△ 180 (△ 0.9 %)
その他	1,590	2,103	△ 513 (△ 24.4 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,100千円

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	102,832	103,596	△ 764 (△ 0.7 %)
原浄水費	20,516	19,513	1,003 (5.1 %)
給配水費	4,877	5,399	△ 522 (△ 9.7 %)
業務費	11,642	12,268	△ 626 (△ 5.1 %)
総係費	716	490	226 (46.1 %)
減価償却費	45,706	47,393	△ 1,687 (△ 3.6 %)
支払利息	7,795	9,451	△ 1,656 (△ 17.5 %)
その他の費用	409	986	△ 577 (△ 58.5 %)
消費税	11,171	8,096	3,075 (38.0 %)

(3) 浅井上水道事業

収入	256,462 千円 (236,190 千円)
支出	196,708 千円 (176,622 千円)
差引	59,568 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	115,427 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	174,995 千円	

簡易水道統合事業に伴う企業債の支払利息や減価償却費の負担が大きいものの、料金改定による収入の増加と徹底した支出の抑制により、経営状況が改善してきました。また、統合簡易水道として企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。これらにより、令和2年度は5,956万8千円の黒字となり、このうち2千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	256,462	258,854	△ 2,392 (△ 0.9 %)
水道料金	217,959	208,801	9,158 (4.4 %)
受託工事収益	275	4,476	△ 4,201 (△ 93.9 %)
受託事業収益	7,487	8,759	△ 1,272 (△ 14.5 %)
加入金	4,224	4,909	△ 685 (△ 14.0 %)
負担金	9,093	11,876	△ 2,783 (△ 23.4 %)
長期前受金戻入	15,930	17,535	△ 1,605 (△ 9.2 %)
その他	1,494	2,498	△ 1,004 (△ 40.2 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費3,000千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費6,063千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	196,708	217,025	△ 20,317 (△ 9.4 %)
原浄水費	32,066	32,031	35 (0.1 %)
給配水費	6,053	6,489	△ 436 (△ 6.7 %)
業務費	15,611	18,557	△ 2,946 (△ 15.9 %)
総係費	1,177	806	371 (46.0 %)
減価償却費	111,090	124,429	△ 13,339 (△ 10.7 %)
支払利息	12,656	18,231	△ 5,575 (△ 30.6 %)
その他の費用	1,427	1,735	△ 308 (△ 17.8 %)
消費税	16,628	14,747	1,881 (12.8 %)

(4) 湖北簡易水道事業

収入	162,200 千円 (149,507 千円)
支出	119,810 千円 (111,845 千円)
差引	37,662 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	293,512 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	331,174 千円	

料金改定による収入の増加と徹底した支出の抑制により、経営状況が改善してきました。また、簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。これらにより、令和2年度は3,766万2千円の黒字となりました。このうち1千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	162,200	163,468	△ 1,268 (△ 0.8 %)
水道料金	137,983	136,113	1,870 (1.4 %)
受託工事収益	75	1,539	△ 1,464 (△ 95.1 %)
受託事業収益	4,216	4,525	△ 309 (△ 6.8 %)
加入金	1,254	1,957	△ 703 (△ 35.9 %)
負担金	6,211	6,779	△ 568 (△ 8.4 %)
長期前受金戻入	11,271	10,751	520 (4.8 %)
その他	1,190	1,804	△ 614 (△ 34.0 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,990千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費4,221千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	119,810	142,516	△ 22,706 (△ 15.9 %)
原浄水費	19,682	18,904	778 (4.1 %)
給配水費	3,501	3,331	170 (5.1 %)
業務費	3,634	4,308	△ 674 (△ 15.6 %)
総係費	726	497	229 (46.1 %)
減価償却費	76,573	94,896	△ 18,323 (△ 19.3 %)
支払利息	8,439	9,578	△ 1,139 (△ 11.9 %)
その他の費用	1,192	922	270 (29.3 %)
消費税	6,063	10,080	△ 4,017 (△ 39.9 %)

(5) 高月上水道事業

収入	188,176 千円 (175,446 千円)
支出	166,706 千円 (157,687 千円)
差引	17,759 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	205,943 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	223,702 千円	

良質な地下水源を有しているため給水原価が低く、料金水準が低い中でも良好な経営状況で、令和2年度は1,775万9千円の黒字となりました。

しかし、有収率が低く、漏水修理費用の増加が見込まれるとともに、浄水場や配水池の増強、漏水多発管路の更新を予定しており、今後経営状況の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	188,176	188,098	78 (0.0 %)
水道料金	136,556	132,086	4,470 (3.4 %)
受託工事収益	64	7	57 (814.3 %)
受託事業収益	6,286	6,300	△ 14 (△ 0.2 %)
加入金	2,310	6,938	△ 4,628 (△ 66.7 %)
負担金	3,033	3,074	△ 41 (△ 1.3 %)
長期前受金戻入	37,735	37,768	△ 33 (△ 0.1 %)
その他	2,192	1,925	267 (13.9 %)

※ 負担金内訳
 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,220千円
 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費812千円
 (長浜市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	166,706	180,797	△ 14,091 (△ 7.8 %)
原浄水費	22,655	24,783	△ 2,128 (△ 8.6 %)
給配水費	2,249	3,084	△ 835 (△ 27.1 %)
業務費	16,656	16,477	179 (1.1 %)
総係費	788	539	249 (46.2 %)
減価償却費	103,839	113,826	△ 9,987 (△ 8.8 %)
支払利息	12,541	13,259	△ 718 (△ 5.4 %)
その他の費用	1,323	774	549 (70.9 %)
消費税	6,655	8,055	△ 1,400 (△ 17.4 %)

(6) 木之本上水道事業

収入	186,304 千円 (178,308 千円)
支出	193,135 千円 (180,104 千円)
差引		△ 1,796 千円
令和元年度繰越利益剰余金	△ 190,630 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	△ 192,426 千円	

大音浄水場建設に伴う企業債の支払利息や減価償却だけでなく、維持管理費用も含め、高額な原価となっています。日頃の維持管理や機器の調整により浄水場ろ過膜の洗浄回数を削減するなど費用を抑制していますが、令和2年度は179万6千円の赤字、1億9千万円を超える累積赤字となっています。

今後、高月上水道事業へ統合するため、接続工事や配管網の再構築が必要となるため、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	186,304	183,345	2,959 (1.6 %)
水道料金	139,602	138,058	1,544 (1.1 %)
受託工事収益	437	23	414 (1,800.0 %)
受託事業収益	4,039	2,499	1,540 (61.6 %)
加入金	462	413	49 (11.9 %)
負担金	1,530	1,530	0 (0.0 %)
長期前受金戻入	39,728	40,103	△ 375 (△ 0.9 %)
その他	506	719	△ 213 (△ 29.6 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,530千円

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	193,135	186,801	6,334 (3.4 %)
原浄水費	39,124	37,357	1,767 (4.7 %)
給配水費	1,695	2,820	△ 1,125 (△ 39.9 %)
業務費	4,337	2,578	1,759 (68.2 %)
総係費	523	358	165 (46.1 %)
減価償却費	117,015	113,084	3,931 (3.5 %)
支払利息	20,188	21,555	△ 1,367 (△ 6.3 %)
その他の費用	343	428	△ 85 (△ 19.9 %)
消費税	9,910	8,621	1,289 (15.0 %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	119,375 千円 (112,804 千円)
支出	117,569 千円 (109,659 千円)
差引	3,145 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	57,791 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	60,936 千円	

料金改定による収入の増加と徹底した支出の抑制や簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられていることで経営を維持しており、また、大規模な漏水が少なかったことから、令和2年度は314万5千円の黒字となりました。

しかし、老朽施設が多く、漏水も多発していることから、今後施設の更新を検討していかなければならず、経営の悪化が懸念されま

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	119,375	126,225	△ 6,850 (△ 5.4 %)
水道料金	71,875	74,467	△ 2,592 (△ 3.5 %)
受託工事収益	0	72	△ 72 (△ 100.0 %)
受託事業収益	2,235	2,021	214 (10.6 %)
加入金	352	1,189	△ 837 (△ 70.4 %)
負担金	3,941	4,260	△ 319 (△ 7.5 %)
長期前受金戻入	40,897	43,621	△ 2,724 (△ 6.2 %)
その他	75	595	△ 520 (△ 87.4 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費904千円
簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費3,037千円
(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	117,569	127,735	△ 10,166 (△ 8.0 %)
原浄水費	23,161	25,101	△ 1,940 (△ 7.7 %)
給配水費	2,005	3,152	△ 1,147 (△ 36.4 %)
業務費	2,605	1,491	1,114 (74.7 %)
総係費	270	184	86 (46.7 %)
減価償却費	77,171	85,792	△ 8,621 (△ 10.0 %)
支払利息	6,074	6,712	△ 638 (△ 9.5 %)
その他の費用	432	438	△ 6 (△ 1.4 %)
消費税	5,851	4,865	986 (20.3 %)

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	93,804 千円 (87,156 千円)
支出	93,006 千円 (84,607 千円)
差引	2,549 千円	
令和元年度繰越利益剰余金	11,460 千円	
令和2年度未処分利益剰余金	14,009 千円	

料金改定による収入の増加と運転管理や維持管理の見直しによる徹底した支出の抑制や簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられていることで経営を維持しており、令和2年度は254万9千円の黒字となりました。

老朽施設が多く、漏水も多発していることから、今後施設の更新を検討していかなければならず、経営の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	93,804	93,564	240 (0.3 %)
水道料金	72,596	71,871	725 (1.0 %)
受託工事収益	24	187	△ 163 (△ 87.2 %)
受託事業収益	2,924	2,087	837 (40.1 %)
加入金	330	569	△ 239 (△ 42.0 %)
負担金	5,158	5,553	△ 395 (△ 7.1 %)
長期前受金戻入	12,550	13,049	△ 499 (△ 3.8 %)
その他	222	248	△ 26 (△ 10.5 %)

※ 負担金内訳

消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,005千円

簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費4,153千円

(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	93,006	96,191	△ 3,185 (△ 3.3 %)
原浄水費	19,696	22,460	△ 2,764 (△ 12.3 %)
給配水費	1,737	1,018	719 (70.6 %)
業務費	3,501	1,589	1,912 (120.3 %)
総係費	301	205	96 (46.8 %)
減価償却費	52,121	55,675	△ 3,554 (△ 6.4 %)
支払利息	8,296	9,090	△ 794 (△ 8.7 %)
その他の費用	772	655	117 (17.9 %)
消費税	6,582	5,499	1,083 (19.7 %)

3

資本的収支の状況

地域水道ビジョンに基づく施設の統廃合や老朽施設の更新、公共工事に伴う水道管路の支障移設を行い、移設補償としての分担金や企業債を財源としました。このほか、企業債の元金償還やWindowsセブンのサポート終了に伴い、企業団が使用する各システムと関連機器、職員用ノートパソコンの更新を行い、財源として、損益勘定留保資金を中心とした内部留保資金を使用しました。

なお、一部の工事につきましては、令和3年度に繰り越しています。

(千円)

収入	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)企業債	156,000	0	2,300	77,400	45,000	0	0	8,200	288,900
(2)出資債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4)分担金	1,110	1,125	48,759	32,879	5,610	0	20,688	37,918	148,089
総収入	157,110	1,125	51,059	110,279	50,610	0	20,688	46,118	436,989
支出	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)建設改良費	156,944	880	37,456	78,393	50,186	0	0	8,284	332,143
(2)営業設備費	58,782	78	71	25	145	14	7	4	59,126
(3)企業債償還金	609,568	52,977	89,794	62,413	47,066	72,260	41,360	75,580	1,051,018
(4)予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支出	825,294	53,935	127,321	140,831	97,397	72,274	41,367	83,868	1,442,287
差引	△ 668,184	△ 52,810	△ 76,262	△ 30,552	△ 46,787	△ 72,274	△ 20,679	△ 37,750	△ 1,005,298
補填財源	668,184	52,810	76,262	30,552	46,787	72,274	20,679	37,750	1,005,298
消費税	19,425	3	1,282	5,642	4,247	0	0	0	30,599
減債積立金	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0	360,000
損益勘定留保資金									0
過年度分	348,759	22,807	54,980	14,910	42,540	72,274	20,679	16,401	593,350
当年度分	0	0	0	0	0	0	0	21,349	21,349

(1) 企業団水道事業

収入	157,110 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	825,294 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	19,425 千円
差引	△ 668,184 千円	減債積立金	300,000 千円
		過年度分損益勘定資金	348,759 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

JR北陸本線横断箇所や、河川横断区間の配水管布設替工事を行い、これらの財源として企業債を借り入れました。その他企業債の元金6億0,956万8千円を返済しています。

工事費の増加に伴い、財源となる企業債も増加しています。

活性炭注入設備更新工事、豊公園配水場の配水ポンプインバーター化および配水管布設替工事の一部を令和3年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	157,110	20,483	136,627 (667.0 %)
企業債	156,000	19,600	136,400 (695.9 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	1,110	883	227 (25.7 %)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	825,294	631,382	193,912 (30.7 %)
建設改良費	156,944	37,254	119,690 (321.3 %)
営業設備費	58,782	1,563	57,219 (3,660.8 %)
企業債償還金	609,568	592,565	17,003 (2.9 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(2) びわ上水道事業

収入	1,125 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	53,935 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	3 千円
差引	△ 52,810 千円	減債積立金	30,000 千円
		過年度分損益勘定資金	22,807 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

令和2年度は受託工事のみを行い、財源として分担金を使用しました。その他企業債の元金5,297万7千円を返済しています。

R元年度実施の大規模な支障移設が完了したため、R2年度は建設改良費と財源となる企業債と分担金が減少しています。

川道・落合配水場改造設計業務を令和3年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	1,125	31,285	△ 30,160 (△ 96.4 %)
企業債	0	17,100	△ 17,100 (△ 100.0 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	1,125	14,185	△ 13,060 (△ 92.1 %)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	53,935	90,989	△ 37,054 (△ 40.7 %)
建設改良費	880	39,900	△ 39,020 (△ 97.8 %)
営業設備費	78	57	21 (36.8 %)
企業債償還金	52,977	51,032	1,945 (3.8 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(3) 浅井上水道事業

収入	51,059 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	127,321 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	1,282 千円
差引	△ 76,262 千円	減債積立金	20,000 千円
		過年度分損益勘定資金	54,980 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

橋梁改修に伴う添架管の布設替工事を行ったほか、水道管路更新工事跡の舗装工事を行い、この財源として企業債を借り入れしました。簡易水道統合事業の企業債の元金返済が8,979万4千円と大きな負担となっています。この返済について、統合簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	51,059	48,764	2,295 (4.7%)
企業債	2,300	6,000	△ 3,700 (△ 61.7%)
出資債	0	0	0 (—%)
補助金	0	0	0 (—%)
分担金	48,759	42,764	5,995 (14.0%)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	127,321	115,888	11,433 (9.9%)
建設改良費	37,456	26,830	10,626 (39.6%)
営業設備費	71	131	△ 60 (△ 45.8%)
企業債償還金	89,794	88,927	867 (1.0%)
予備費	0	0	0 (—%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費42,968千円

(4) 湖北簡易水道事業

収入	110,279 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	140,831 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	5,642 千円
差引	△ 30,552 千円	減債積立金	10,000 千円
		過年度分損益勘定資金	14,910 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

継続事業として西部地区で配水管布設替工事を開始したため、建設改良費と財源となる企業債が大幅に増加しています。

その他企業債の元金6,241万3千円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和2年度 千円	令和元年度 千円	前年度との比較 (増減率) 千円
資本的収入	110,279	62,494	47,785 (76.5%)
企業債	77,400	15,500	61,900 (399.4%)
出資債	0	0	0 (-%)
補助金	0	0	0 (-%)
分担金	32,879	46,994	△ 14,115 (△ 30.0%)

(資本的支出)

科目	令和2年度 千円	令和元年度 千円	前年度との比較 (増減率) 千円
資本的支出	140,831	93,104	47,727 (51.3%)
建設改良費	78,393	32,648	45,745 (140.1%)
営業設備費	25	34	△ 9 (△ 26.5%)
企業債償還金	62,413	60,422	1,991 (3.3%)
予備費	0	0	0 (-%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費31,096千円

(5) 高月上水道事業

収入	50,610 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	97,397 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	4,247 千円
差引	△ 46,787 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	42,540 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

継続事業として高月町森本で配水管布設替工事を開始したため、建設改良費と財源となる企業債が増加しています。

その他企業債の元金4,706万6千円を返済し、この返済の一部について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

配水管布設工事の一部を令和3年度に繰り越して実施します。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	50,610	5,568	45,042 (808.9%)
企業債	45,000	0	45,000 (-%)
出資債	0	0	0 (-%)
補助金	0	0	0 (-%)
分担金	5,610	5,568	42 (0.8%)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	97,397	67,629	29,768 (44.0%)
建設改良費	50,186	23,210	26,976 (116.2%)
営業設備費	145	67	78 (116.4%)
企業債償還金	47,066	44,352	2,714 (6.1%)
予備費	0	0	0 (-%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費5,610千円

(6) 木之本水道事業

収入	0 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	72,274 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的	0 千円
差引	△ 72,274 千円	収支調整額	
		減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	72,274 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

令和2年度は建設改良工事がありませんでしたが、引き続き、企業債の元金7,226万円を返済しています。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	0	1,397	△ 1,397 (△ 100.0 %)
企業債	0	0	0 (— %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	0	1,397	△ 1,397 (△ 100.0 %)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	72,274	72,401	△ 127 (△ 0.2 %)
建設改良費	0	1,452	△ 1,452 (△ 100.0 %)
営業設備費	14	57	△ 43 (△ 75.4 %)
企業債償還金	72,260	70,892	1,368 (1.9 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	20,688千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	41,367千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	0千円
差引	△ 20,679千円	減債積立金	0千円
		過年度分損益勘定資金	20,679千円
		当年度分損益勘定留保資金	0千円

予定していた配水管布設工事の一部を令和3年度に繰り越して実施したため、令和2年度に完了した建設改良工事がなく、建設改良工事と財源となる企業債が減少しています。企業債の元金返済4,136万円に対して、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	20,688	21,962	△ 1,274 (△ 5.8%)
企業債	0	2,500	△ 2,500 (△ 100.0%)
出資債	0	0	0 (—%)
補助金	0	0	0 (—%)
分担金	20,688	19,462	1,226 (6.3%)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	41,367	42,490	△ 1,123 (△ 2.6%)
建設改良費	0	3,546	△ 3,546 (△ 100.0%)
営業設備費	7	20	△ 13 (△ 65.0%)
企業債償還金	41,360	38,924	2,436 (6.3%)
予備費	0	0	0 (—%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費20,688千円

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	46,118 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	83,868 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	0 千円
差引	△ 37,750 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	16,401 千円
		当年度分損益勘定留保資金	21,349 千円

西浅井町大浦で配水管布設替工事跡の舗装復旧工事を行い、財源として企業債を借りました。その他企業債の元金7,558万円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	46,118	44,040	2,078 (4.7%)
企業債	8,200	8,500	△ 300 (△ 3.5%)
出資債	0	0	0 (—%)
補助金	0	0	0 (—%)
分担金	37,918	35,540	2,378 (6.7%)

(資本的支出)

科目	令和2年度	令和元年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	83,868	79,443	4,425 (5.6%)
建設改良費	8,284	8,580	△ 296 (△ 3.4%)
営業設備費	4	11	△ 7 (△ 63.6%)
企業債償還金	75,580	70,852	4,728 (6.7%)
予備費	0	0	0 (—%)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費37,918千円

4

給水原価の状況

(1) 給水原価と供給単価

給水原価は、膜処理施設を有する木之本、余呉木之本、西浅井区域で高くなっています。
供給単価は、水道料金の低い高月で低く、水道料金の高い木之本区域で高くなっています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
総費用(千円)	1,056,943	70,352	160,158	100,264	119,108	135,148	68,741	72,018
有収水量(千m3)	7,975	803	1,281	802	1,024	616	407	422
給水原価(円)	132.5	87.6	125.0	125.0	116.3	219.3	169.0	170.6
供給単価(円)	160.1	155.9	154.7	156.4	121.2	206.0	160.7	156.3

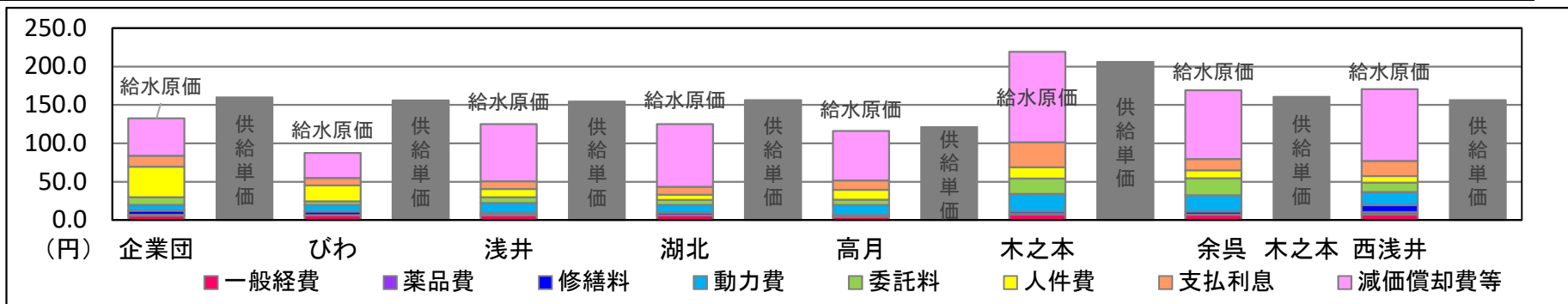
※給水原価(有収水量1m3あたりの費用) = {総費用 - (受託工事費 + 材料売却原価 + 長期前受金戻入)} ÷ 有収水量

※供給単価(有収水量1m3から得られる料金) = 水道料金収入 ÷ 有収水量

(2) 原価構成

大規模な建設工事を行った事業では全体的に1m3あたりの減価償却費等や支払利息が高く、膜処理施設を有する事業では運転のための消費電力が多く動力費が高いほか、膜の洗浄など修繕料も高くなっています。(円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
減価償却費等	48.5	32.8	74.3	81.4	64.5	117.8	89.3	93.6
支払利息	14.5	9.7	9.9	10.5	12.2	32.7	14.9	19.6
人件費	39.5	20.6	10.8	6.8	13.1	14.7	10.3	8.5
委託料	10.1	4.8	7.8	6.4	6.6	20.0	22.1	12.1
動力費	7.4	8.4	12.9	10.1	13.4	23.0	21.1	17.2
修繕料	5.4	4.8	2.6	3.3	2.0	3.1	3.9	9.0
薬品費	1.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	0.3	3.2
一般経費	5.8	6.4	6.6	6.4	4.3	7.3	7.1	7.4
計	132.5	87.6	125.0	125.0	116.3	219.3	169.0	170.6

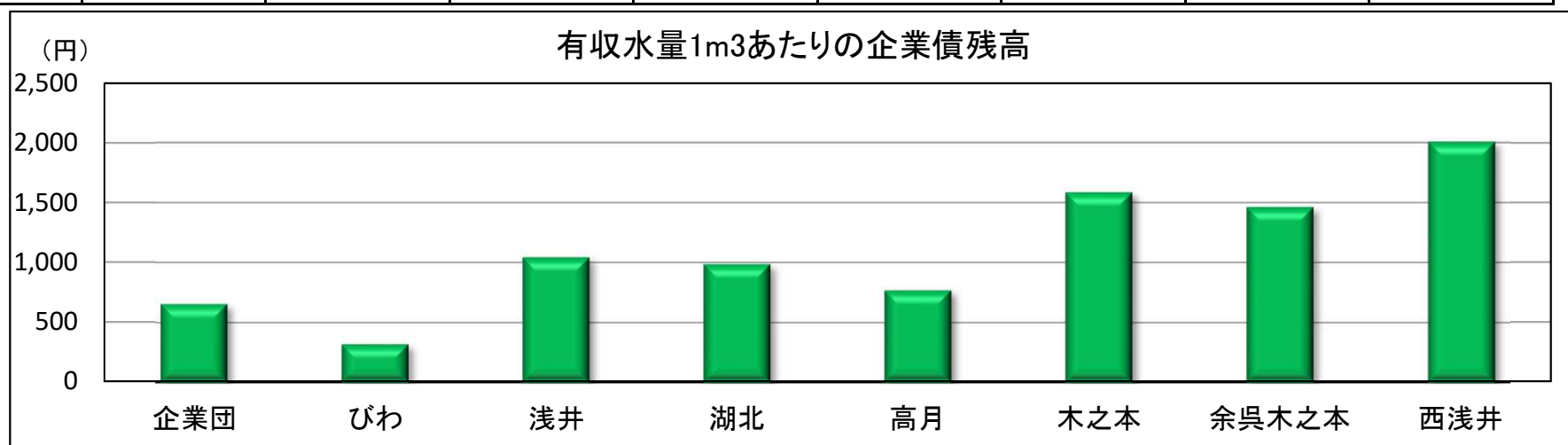


5 その他財政状況

(1) 企業債の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	5,664,503	307,814	1,424,430	775,729	789,438	1,049,481	636,296	914,144
令和2年度借入額	156,000	0	2,300	77,400	45,000	0	0	8,200
令和2年度返済額	609,568	52,977	89,794	62,413	47,066	72,260	41,360	75,580
令和2年度末残高	5,210,934	254,837	1,336,936	790,716	787,373	977,221	594,936	846,763



(2) 内部留保資金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	671,811	427,622	573,558	380,113	347,007	389,393	64,248	15,540
令和2年度受入額	386,312	26,349	95,161	65,302	66,105	72,533	36,273	39,572
令和2年度使用額	348,759	22,807	54,981	14,910	42,540	72,274	21,611	38,825
令和2年度末残高	709,364	431,164	613,738	430,505	370,572	389,652	78,910	16,287

(3) 退職給与引当金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	289,009	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度受入額	58,219	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度使用額	35,975	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度末残高	311,253	0	0	0	0	0	0	0

(4) 減債積立金、利益積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度受入額	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0
令和2年度使用額	300,000	30,000	20,000	10,000	0	0	0	0
令和2年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 建設改良積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0
令和2年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0

(6) 修繕引当金、特別修繕積立金の状況

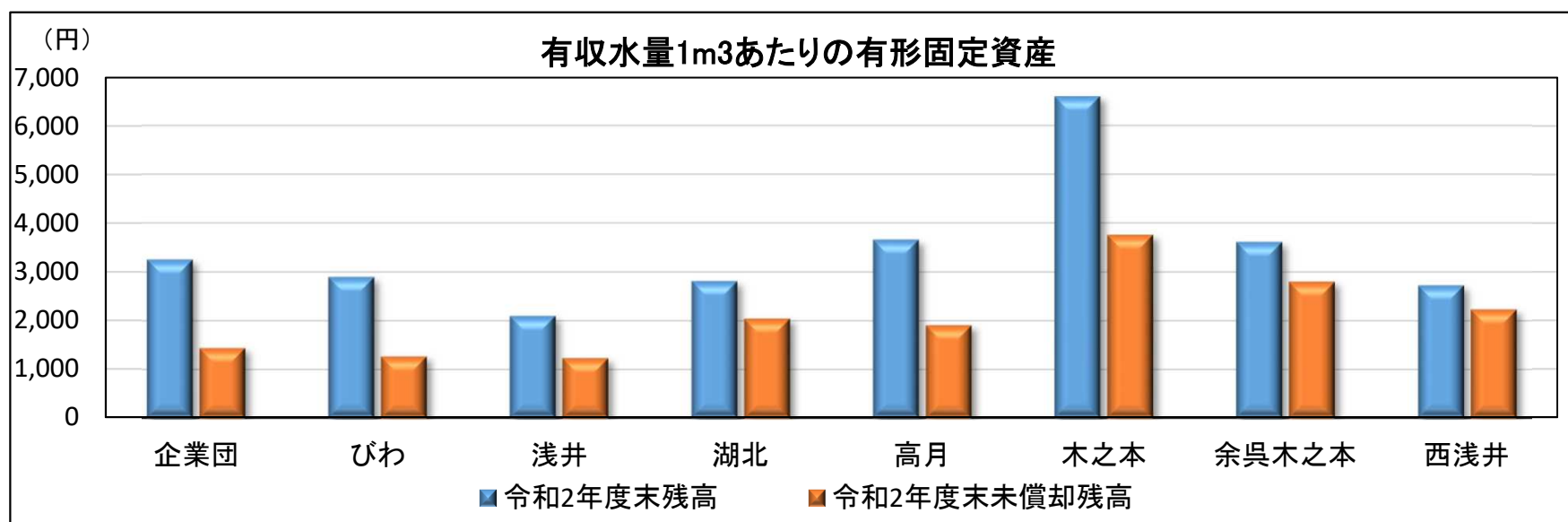
(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	636,195	88,065	0	0	1,271	251	0	0
令和2年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度末残高	636,195	88,065	0	0	1,271	251	0	0

(7) 有形固定資産の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
令和元年度末残高	25,744,231	2,321,664	2,647,480	2,180,648	3,698,901	4,101,868	1,469,347	1,140,288
令和2年度増加額	211,591	878	35,160	71,291	46,211	14	8	7,535
令和2年度減少額	0	0	0	0	0	33,518	0	0
令和2年度末残高	25,955,822	2,322,542	2,682,640	2,251,939	3,745,112	4,068,364	1,469,355	1,147,823
令和2年度末減価償却累計額	14,503,940	1,309,204	1,108,111	614,281	1,793,150	1,752,095	332,053	208,151
令和2年度末未償却残高	11,451,882	1,013,338	1,574,529	1,637,658	1,951,962	2,316,269	1,137,302	939,672



(8) 主な指標

① 総収益対総費用比率 (%)

算式 $(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$

総収益と総費用を対比させ、企業の全活動の能率を表すもので、この比率が高いほど経営状態が良好である。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
総収益対総費用比率	129.2	170.6	133.7	133.7	111.3	99.0	102.9	103.0	115.9

② 流動比率 (%)

算式 $(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$

短期債務に対してこれに必ずべき流動資産が十分にあるかどうかを示すもので、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになる。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
流動比率	269.0	1,165.6	814.5	588.4	672.3	249.9	253.1	68.8	343.0

③ 職員1人当たり有収水量 (m³)

算式 $\text{年間総有収水量} / \text{損益勘定所属職員}$

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
職員1人当たり有収水量	295,355	401,575	640,493	802,011	512,074	616,143	406,668	422,212	459,600

④ 施設利用率 (%)

算式 $(\text{1日平均給水量} / \text{1日給水能力}) \times 100$

施設能力に対する利用率を示す。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
施設利用率	56.9	51.2	79.4	70.1	79.9	46.3	76.8	68.9	63.5

⑤ 配水管使用効率 (m³/m)

算式 年間総給水量 / 導送配水管延長

導送配水管1m当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
配水管使用効率	18.4	17.1	10.4	12.5	16.1	20.4	5.2	9.9	17.6

⑥ 固定資産使用効率 (m³/万円)

算式 年間総給水量 / 有形固定資産

有形固定資産1万円当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (令和元年度)
固定資産使用効率	8.0	13.0	12.4	7.4	8.3	3.9	6.2	6.2	7.1

⑦ 管路の事故割合 (件/100km)

算式 (管路の事故件数 / 管路総延長) × 100

管路100kmあたりの事故件数を表しています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
管路の事故割合	0.8	2.6	4.3	10.3	5.9	9.0	5.9	3.4	4.6

⑧ 給水管の事故割合 (件/1,000件)

算式 (給水管の事故件数 / 給水件数) × 1,000

給水件数1,000件あたりの給水管の事故件数を表しています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
管路の事故割合	0.9	16.3	9.2	7.9	12.2	6.1	7.1	5.6	0.3

6 主要事業の状況

(1) 水道事業の統廃合に伴う下坂浜浄水場配水区域拡大関連工事(企業団、びわ)

企業団水道事業にびわ上水道事業と小今賀簡易水道事業を統合し、下坂浜浄水場の配水区域は旧びわ町全域と旧湖北町小今、賀へ拡大するため、配水量の増加が見込まれる豊公園配水場の配水ポンプをインバータ化するもので、令和3年度に繰り越して実施します。

また、下坂浜浄水場からの水を旧びわ町区域へ安定して配水するため、川道、落合配水場の改造を行うため、設計業務を令和3年度に繰り越して実施します。

(2) 水道事業の統廃合に伴う高月浄水場配水区域拡大関連工事(高月)

高月上水道事業区域の安定給水を図りながら、高月浄水場区域を木之本上水道事業区域へ拡大するため高月浄水場の増強を行うもので、新規取水施設(井戸)の設計および工事を行いました。

(3) 八条山第3配水池送水管布設替工事(企業団)

下坂浜浄水場から八条山第3配水池への送水管の布設替工事を行うもので、令和2年度は、配管ルートや口径、施工方法を検討する概略設計業務を委託し、令和3年度に繰り越して実施します。

(4) 配水方法見直しの検討(余呉木之本、西浅井)

余呉木之本簡易水道事業余呉中央浄水場配水区域において、八戸配水池の廃止とこれに伴う配管整備について検討を行うもので、設計を完了し、布設替工事を令和3年度に繰り越して実施します。

また、西浅井簡易水道事業集福寺配水区域において、塩津中継ポンプ場の廃止とこれに伴う配管整備について検討を行うもので、設計を完了し、布設替工事を令和3年度に実施します。

(5) 配水管整備事業(企業団、びわ、浅井、湖北、高月、西浅井)

漏水の危険性の高い配水管の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる配水管の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を行い、一部工事について令和3年度に繰り越して実施します。

特に、湖北西部簡易水道事業および高月上水道事業においては、漏水多発地区での送配水管更新のための設計業務委託および布設替工事を行うため、湖北簡易水道事業については令和6年度まで、高月上水道事業については令和5年度までの継続事業として実施します。

(6) 下坂浜浄水場活性炭注入設備更新工事(企業団)

プランクトンによる生臭臭やカビ臭を防止するため、下坂浜浄水場の活性炭注入設備を更新するもので、設計および工事を令和3年度に繰り越して実施します。

(7) 電算機器およびソフト更新

Windows7のサポートが終了したことにより、企業団が使用する水道料金システム、地図情報システム、設計積算CADシステムについても今後ソフトのサポートが終了することから、各システムのサーバー、クライアントその他関連機器、職員に配付しているノートパソコンを更新するもので、一部を令和3年度に繰り越して実施します。